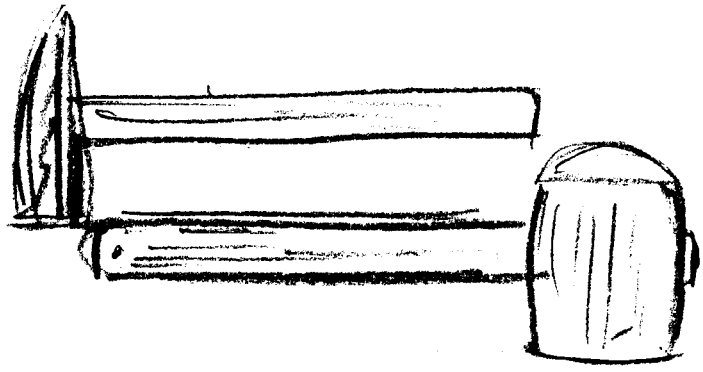
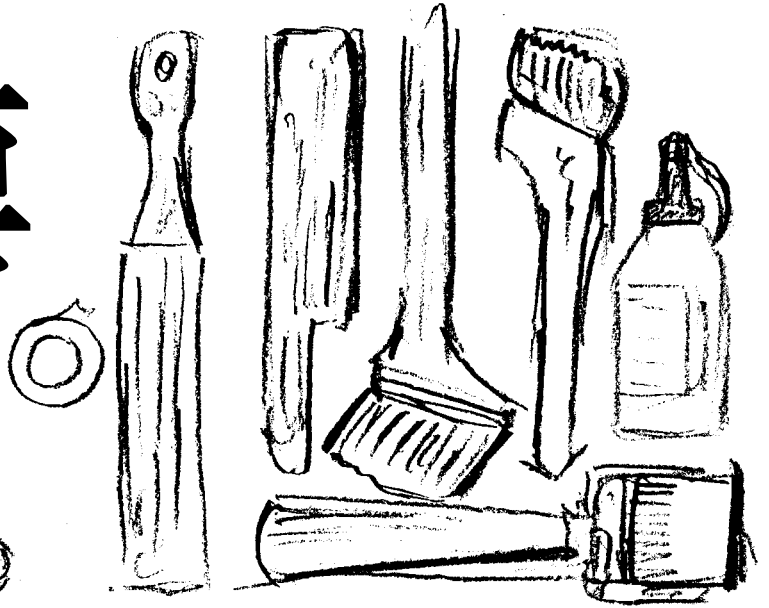


浅草

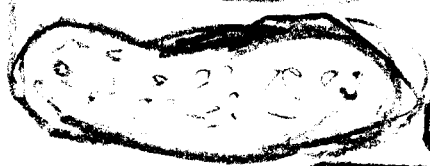


ものづくり

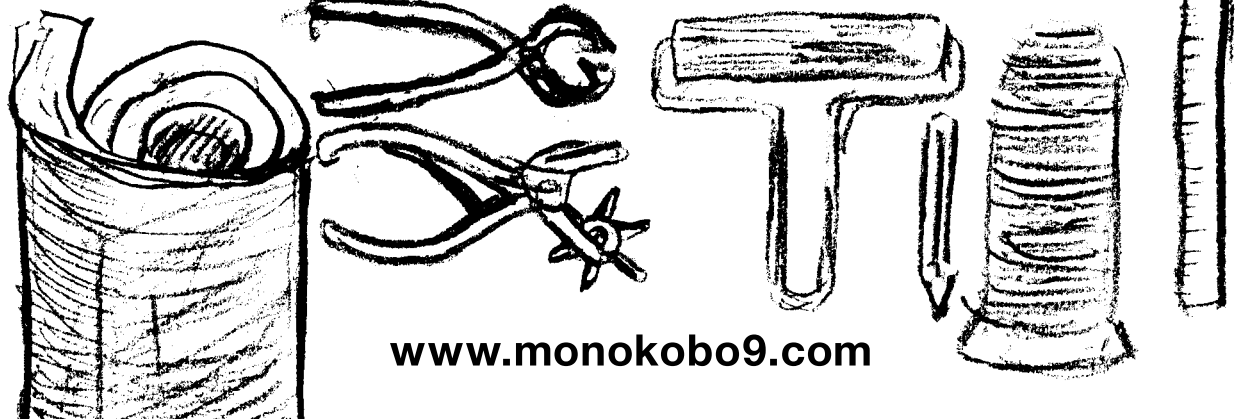
工房



Asakusa Manufacturing Studio



アルチザンが集い、育つ場所



www.monokobo9.com

- 東京都台東区 -

江戸時代から続く、ものづくりの聖地

台東区には、江戸時代から同じ業種の人たちが集まって住む地域がいくつかあり、それが令和の今にもまだ何カ所か残っています。

そのうちの一つがここ、奥浅草一帯です。もともと浅草には芝居小屋があり、芝居で使う小道具（細工物）、中でも履物を作る職人が集まっていた場所。

男伊達といわれた火消しの頭が着る革半纏をはじめ、煙草入れなどの袋物を作る職人も多く住んでいました。

明治に入り、洋装が入ってくると同時に靴が必要になり、今まで日本になかった靴を作るために革職人と履物職人が尽力することに。

その両方が集まる浅草周辺は、靴づくり、さらにはバッグや帽子などの洋装小物を作る街へと変化していきました。

令和の現在も、浅草ものづくり工房がある奥浅草は、靴を中心とした皮革関連産業が盛んで、問屋やメーカー、各種加工所やパーツ企業などが集積しています。

浅草ものづくり工房は、こうした地元企業とも連携し、入居者の新しい感性と、長年ものづくりに携わってきた企業の経験と知識を結んで、相互に刺激しあい、発展していけるようなプラットフォーム的存在を目指し、将来に繋げていきます。



- 浅草ものづくり工房 -

元校舎を活用した創業支援施設



浅草ものづくり工房は、台東区の地場産業発展の力となる、個人や創業間もない法人を育成支援するため、平成21年12月に開設された創業支援施設です。台東区の地場産業であるファッションやライフスタイル関連の産業をメインに、今後台東区を拠点として事業を展開したい人々を対象に、年一回、入居者を公募しています。

全部で9室の工房があり、一回の募集で3組程度の入居者を決定します。入居期間は原則3年以内で、一年ごとに更新審査があります。入居期間中はインキュベーションコンサルティングなどビジネス競争力をつけるための支援や、ものづくりに携わる地元企業団体などと連携や交流を図っていきます。

入居者のみなさんが3年の間に、やりたいことをビジネスとして続けられる力をつけるよう様々な支援を行うのが、浅草ものづくり工房です。期間終了後、台東区内で起業し、活躍している卒業生も多くおります。卒業とともに、台東区で地場産業の活性化に一役買う、新しい力になってくれることを期待します。

浅草ものづくり工房

〒111-0023 東京都台東区橋場1-36-2 台東区立産業研修センター内

* 施設への訪問をご希望の方は、事前にお問い合わせください。

(施設公開は年に1回です)

asakusa.koubou@gmail.com

個性豊かな 8 組の入居者

201 号室

Hirose shoe design



廣瀬 友和
オーダーシューズ

ヴィンテージアスレチックシューズのデザインを元にハンドソールウェルト製法で作るオーダーシューズブランド。



202 号室

WAL footwear technology



渡辺 健太
オーダーメイド スニーカー
・インソール

ドイツ整形靴技術を用い、歩行の快適さを追求するオーダースニーカー・インソールブランド。



203 号室

yojomi crafts



近江 洋司
革靴・革製品

クラフト、プロダクト、アート、ファッションといった要素が心地良く感じられる手染めによるカラフルな革靴を中心とした革製品ブランド。



301 号室

satanama



山本 倫広 / 倉田 麻衣子 / 宮 聡
アップサイクルプロダクト

私たちが日々暮らしていく中で捨てられているもの達。それらにもう一度違う形、役割を与え、生まれ変わらせるプロジェクト。



台東区の地場産業である皮革製品やジュエリーを中心に、8組の若手職人・デザイナーが
全国から集まり、日々切磋琢磨しながら活動をしています。

302 号室

Amenez-moi!



勅使河原 由美子

革バッグ等

手縫いから生まれる揺らぎのある線。陽だまりに包まれているような温もりで溢れる革のプロダクトをお届けします。



303 号室

dito



増淵 文也 / 石井 快

オーダーメイドシューズ
・シューズアート

“Un dito di vino” グラスに指を真っ直ぐ立てて美味しいワインを目一杯注ぐように、履き心地の良い靴を目一杯履いて愉しむ。



304 号室

Tommelise



田中 妙佳

ジュエリー

洋服を季節によって変えて楽しむように、ジュエリーでも四季を楽しむということがポピュラーになれば、1日1日がより煌めくのではと考えています。



306 号室

MAKAMI



久津 真実

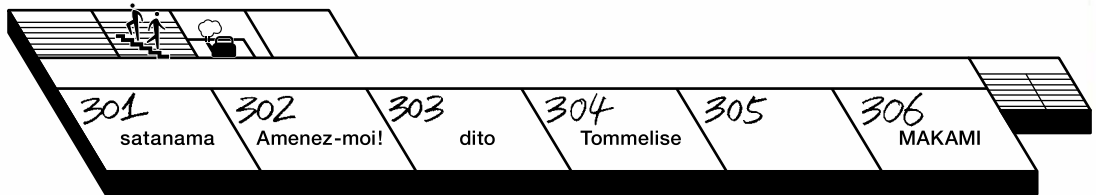
革小物・鞆・靴

その傷が生きた証。その命を受け継ぐ。害獣駆除された野生動物の革(ジビエレザー)を使い、自然との共生と命の循環を目指すブランド。

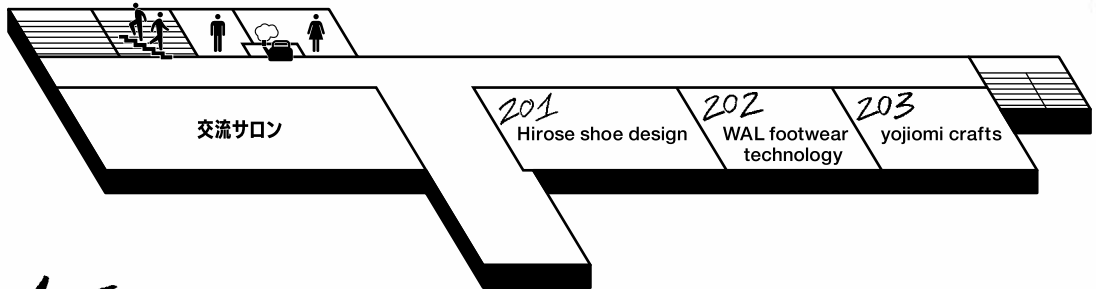


施設マップ

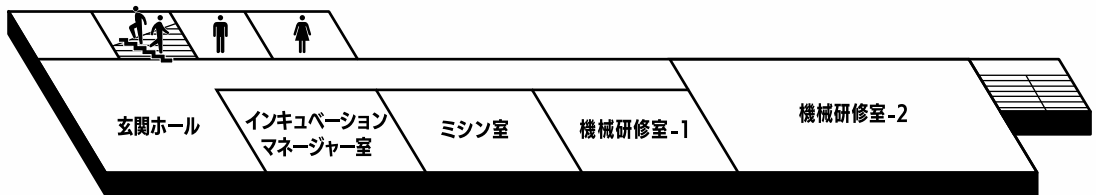
3F



2F



1F



施設管理人



Blue Marble

石塚 杏梨

BLUE MARBLE /NEW ENERGY TOKYO プロデューサー

櫻井 利信

NEW ENERGY TOKYO キュレーター

令和6年度の新入居者を 2 組募集します。

募集期間 令和5年9月1日～令和5年10月31日(必着)

応募方法 申請書及び必要書類を台東区役所産業振興課へ持参又は郵送

説明会 令和5年10月7日(土)午前10時～ *申込締切10月4日

(内覧会) 令和5年10月22日(日)午後2時～ *申込締切10月19日

(注)10月7日は説明会と施設見学がメインです。

施設公開は10月20日(金)～22日(日)午前10時～午後5時

入居資格(一部抜粋)

1. 皮革関連製品をはじめとする靴、鞆、バッグ、ベルト、帽子、ジュエリー、アクセサリなど、台東区の地場産業である、ものづくりを担っていく意欲のある作家、職人、クリエイターなどであり、台東区内で創業を予定している個人、または創業5年以内の法人。
2. ビジネスを拡大する意欲が高く、また創業のための支援が必要と認められること。
3. 台東区内の地場産業や地域の活性化に寄与する活動を行う意欲があること。
また、浅草ものづくり工房等の事業や周知に協力すること。
4. 施設の利用期間終了後、台東区内において、引き続き事業を行う意思があること。

支援内容例

- ・ 経営やビジネスに関する相談
- ・ 情報の発信と提供
- ・ 商品開発のための調査、技術的な相談
- ・ ビジネスに役立つ知識の習得
- ・ 販売促進などの相談、サポート
- ・ 業界との交流、ネットワークづくり、地域との交流等

入居期間

令和6年4月1日から3年以内*1年ごとに更新審査有

※その他、詳細についてはお問い合わせください。

入居に関する問い合わせ・申込先

台東区役所産業振興課地域産業担当(9番⑤窓口)

〒110-8615 台東区東上野4-5-6 電話:03-5246-1143

jibasan.k8z@city.taito.tokyo.jp

浅草ものづくり工房

第
11
回

施設公開

Asakusa Manufacturing Studio Open Studio



アトリエ公開
商品販売
職人実演
ワークショップ
+
トークショー
+
フードカー
etc

入居クリエイターのアトリエ公開・販売会を行う、年に一度の特別な3日間

2023 10.20 FRI → 22 SUN

会場 浅草ものづくり工房
台東区 産業研修センター内

10⁰⁰ OPEN → 17⁰⁰ CLOSE



最新情報は公式SNSをチェック!

お問い合わせ：03-3872-6780（台東区産業研修センター）

※ 車椅子・ベビーカーなどをご利用の方は施設内の移動に制限がございます。予めご了承のほどよろしくお願い致します。

入場無料 主催：台東区